

# せいなんぶ福祉

SEINANBU FUKUSHI

第55号

編集・発行  
西南部地区社会福祉協議会  
西南部地区民生委員児童委員協議会

金沢市八日市出町815番地  
西南部児童館内  
電話(076)240-3878

『令和2年度版 西南部地区地域福祉活動計画』紹介号



## 『令和2年度版 西南部地区地域福祉活動計画』決定

西南部地区社会福祉協議会 会長 新保 修

### 1 地域福祉活動計画とは？

金沢市では、各地区の社会福祉協議会が中心となって地域住民自らが策定する「**それぞれの地域の特性を活かしながら取り組んでいくべき具体的な福祉活動の方針と事業内容**」を5年毎に作成しています。そこで西南部地区でも、来年度から5年間の活動計画を作成することにしました。

### 2 計画作成の経緯について

活動計画は、西南部地区の実情に詳しく、日頃から地域の福祉活動にご尽力頂いている下記の団体の皆さんにご協力願いながら作成しました。しかし、今年度は新型コロナウイルス禍により、全体が集まっての会合を開くことができませんでした。そこで、各団体からアンケートを提出して頂き、それを基に計画原案を作成し、それを各団体で協議していただき、その結果を元に、最終的に昨年の11月中旬に、地区社会福祉協議会役員会で決定しました。

#### 〔計画策定委員会参画団体〕

地区社会福祉協議会	公民館	シニアクラブ連合会	小学校育友会	消防団
民生委員児童委員協議会	児童館	婦人会	保育園	母子寡婦福祉会
まちぐるみ福祉活動推進委員会	児童クラブ	小学校	こども会連合会	身体障害者福祉協会
町会連合会	母親クラブ	中学校	青少年健全育成協議会	

### 3 地区の実情から決定した活動計画の重点

#### (1) 西南部地区の実情

- ・前回計画を作成した5年前と比べると、金沢市全体の人口は減っているのに、本地区は増加傾向にあります。これは新保本町会あたりを中心とした若い子育て世帯の増加によるものと思われます。  
一方、高齢者の一人や二人世帯の増加は、金沢市平均と比べてもかなり高く、75歳以上の後期高齢者は前回の3倍弱の増加で、金沢市平均の2倍強です。町会による高齢化率の違いも大きいです。そこで  
**重点① 高齢者（特に後期高齢者）の皆さんが暮らしやすい地区に！** としました。
- ・地域の「子育て支援」状況は、子どもの保育の需要が年々増加傾向にあり、西南部児童館の「放課後児童クラブ」はここ数年希望者全員を受け入れられない状況です。来年度からは民間の児童クラブが八日市出町に開設され、今後はこの2つの児童クラブの連携による地域の子育て環境の向上が求められます。そこで  
**重点② 放課後の子どもの居場所の充実を！** としました。

#### (2) 取り組みの重点

以上の実情に加えて、今後の取り組みの重点を以下の4つに決定しました。

#### 『令和2年度版 西南部地区地域福祉活動計画』取組の重点

- 重点① 高齢者（特に後期高齢者）の皆さん方が暮らしやすい地区づくり**  
・高齢者のゴミ出し援助、雪害対策、交流の推進など
- 重点② 放課後児童クラブの連携や町会の子ども会などによる、子どもたちの居場所の充実、一人親家庭への対処も**
- 重点③ 地域が連携した機能的な「福祉防災マップ」の作成と活用の推進**
- 重点④ 共同募金への取り組みやコミュニティカフェへの取り組み、町会行事など、効果的な取り組み事例の共有を図り、各町会の実情に合った取り組みの推進**



# 「社会福祉協議会」って、どんな組織？何をしているの？

～西南部地区社会福祉協議会は、このようにたくさんの組織や活動に支えられて成り立っています～



## 公民館

- ・地域の方々が集い、生涯学習、健康保持に役立つ諸活動を実施。
- ・チカモリ縄文まつり、社会体育大会、文化祭、成人式などを通じた、地域の交流や連携の推進。
- ・すこやか学級、女性学級、ヘルスアップ教室などの交流拠点。その他絵手紙、オカリナ教室など多くの定期教室、サークルの開催などを実施。

## 町会連合会

- ・共同募金の協力依頼を実施、募金は地域の社会福祉事業に活用されます。
- ・高齢者の交流の場であるコミュニティカフェを社協や老人会と共に運営。
- ・地域の防災マップの作成や雪害時の地区内の協力体制の見直し。
- ・子どもの下校時の安全パトロールの実施などを通して、より住みやすい校区の実現に努めています。

## 婦人会

- ・14町会、757名（今年度）。町会連合会と手を携えて各種活動に協力。
- ・リーダー研修、調理実習、バザー、各種勉強会等を開催して、安全・安心の町づくりに協力。
- ・コミュニティカフェ、夏休み中の児童館での見守り活動への協力なども実施。

## 青少年健全育成協議会

- ・平成12年度に西南部公民館から分離独立、青少年が過ごしやすい地域を目指して、諸団体と情報交換しながら啓発活動を行っている。
- ・毎年12月に子ども会が、高齢者世帯に向けた年賀状を書き、その席で少年委員（中学生）に社会福祉や民生委員の役割などについて話している。
- ・災害時など不測の事態に、青少年が民生委員の手伝いを自然にできる校区を目指しています。

## 地域包括支援センターかみあや

- ・地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口です。西南部地区（押野・三和・西南部）を担当しているのが、「地域包括支援センターかみあや」です。
- ・介護・福祉・保健・医療などに関することをはじめ、日常生活でお困りのこと、どこに相談していいかわからないことも相談できます。地域の民生委員とも連携しています。
- ・電話でも来所でも受け付けます。〔上荒屋1-39 やすらぎホーム内、電話269-0850〕

## 母子寡婦福祉会

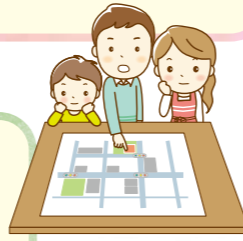
- ・戦後の未亡人会から始まり、毎年追悼法要を行いながら、同じ境遇の親たちが話し合い、助け合ってきました。
- ・一人親家庭の方も相談いただければ、行政とも話し合っって支援を考えたいと思います。

## 身体障害者福祉協会

- ・約70年前に結成された団体。市や県に要望を述べると共に、地域共生社会における自助努力の一環として、災害時における積極的な個人情報の開示提供を目標としています。

## 民生委員児童委員協議会

- ・西南部地区23名の民生委員児童委員、主任児童委員はまちぐるみ福祉活動推進員でもあり、社会福祉協議会の一員として、各町会のまちぐるみ福祉活動推進員、町会役員の皆さんと共に、福祉活動の担い手、推進役として地域住民の暮らしを支援しています。
- ・支援内容としては高齢者の実態調査、社会福祉協議会と連携協力の地域サロン、配食活動、敬老会、文化祭支援、高齢者一人暮らしや子ども達、各世帯の見守り、行政や関係機関、地域小中学校のパイプ役など多岐に渡っています。
- 〔まちぐるみ福祉活動推進員会〕
- ・各町会ごとに委員があり、主に民生委員のサポートをしながら地域の高齢者支援のお手伝いをしています。
- ・今年度はコロナ禍でしたが、75歳以上の高齢者の皆さんにお祝い品を配ったりしました。困り事などありましたら民生委員などに伝えますのでご相談下さい。



# 西南部地区社会福祉協議会



## 児童館

- ・0歳から18歳までの子ども達の施設ですが、高齢者の皆さんが集まり学習したり遊んだりする「地域サロン」の開催や、0歳から3歳までの子どもと親のための子育て支援を行う「子育てサロンひまわり」も開催したりして、地域の多くの皆さんが利用して頂ける施設です。
- ・児童クラブ併設の児童館なので、平日の午後は、子ども達の元気な声がいっぱい響いています。



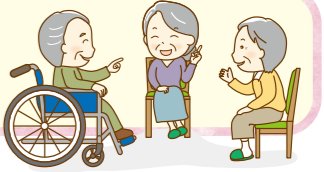
## 児童クラブ、母親クラブ（主任児童委員）

- ・活動は主に、①子育て支援活動、②児童健全育成活動、③個別支援活動。
- ・地域を担当する児童委員と連携・協力し、学校や関係機関と連携を図りつつ、子ども達が安心して豊かに暮らせる地域づくりをめざしている。
- ・①の子育て支援活動の一環として、月に1回西南部児童館で「子育てサロンひまわり」を開催。保健師や保育士を招き0～3歳児と母親が集い、季節の行事を行ったり交流したりしている。



## シニアクラブ連合会

- ・金沢市老人連合会の組織です。町会毎に高齢者が交流するコミュニティカフェを設けたり、高齢者の健康促進のための活動を行ったりしています。
- ・多くの皆さんの参加を待っています。特に男性の参加も待っています。



## ボランティア西南部フレンズ

- ・今年で創設26年目。構成員は、民生委員・まちぐるみ福祉活動推進員全員の計58名。
- ・一人暮らし、高齢者世帯との交流を深め、その人らしく生活できるよう見守る。
- ・春や秋のお彼岸、寒中見舞い時などには安否確認を兼ねてのおはぎやお菓子などの配布、地域サロンでは、健康に配慮した昼ご飯の提供も実施。
- ・活動資金は各種助成金に加え、公民館文化祭での手作り品やふりかけ販売で賄っている。



## 保育園、小学校、中学校、育友会、こども会連合会

- ・認定こども園（すずらん、しらゆり保育園）は、地域の乳幼児の保育と教育を実施。
- ・小・中学校は、日頃の活動の中で福祉施設への訪問・交流、児童館との交流、地域での子どもの安全を守る活動などを行っており、育友会やこども会連合会もそのサポートをしている。

※ここに紹介した活動は、特に「社会福祉協議会」と関係する活動で、それぞれの団体ではこれ以外にも様々な活動を行っています。ここに紹介し切れなかった団体もあります。なお、これらの団体へのお問い合わせは、西南部児童館内にある社会福祉協議会事務局まで（電話・FAXとも240-3878）。



## 社会福祉協議会とは？

前ページのように、地域の多くの組織や活動に支えられている「社会福祉協議会」は、地域における住民組織と公私の社会福祉事業関係者等により構成され、住民主体の理念に基づいて、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らす事ができる地域福祉の実現を目指し、住民の福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整および事業の企画・実施などを行う、公共性と自主性を有する民間組織です。(金沢市ホームページから)

## 西南部地区社会福祉協議会、最近の活動から

### コロナ禍に負けず『お家で活動』事業スタート！

～子どももお年寄りも元気な地域に～

今年度は新型コロナウイルス禍により、様々な活動に大きな支障が出ています。西南部地区社会福祉協議会でも、小さなお子さんをお持ちの方々への支援や触れ合いの場である「子育てサロンひまわり」や、お年寄りの皆様の憩いと元気の場である「地域サロン」が、今年度は中止となってしまいました。

そこで何とか皆様と「つながり」が持てないかと考え、「お家で活動」事業をスタートさせました。**子育て中の皆さんには、子ども達とご家庭で簡単に手作りできるおもちゃの作り方と材料を、お年寄りの方には、冬でも室内で簡単にできる運動を紹介したパンフレットなどをお配りすることにしました。**

運動がてら、児童館まで取りに来ていただけたらと思っています。多くの皆様のご利用を待っています！



配布する「おもちゃ」の一例（材料と作り方解説付き）



パンフレットなどの手渡しの様子と、頑張った取組の記録

### 「募金」活動は、地域のために役立っています！

～引き続き、ご協力をお願いします～

日頃から「赤い羽根共同募金」や「歳末募金」等へのご協力、ありがとうございます。実は、**募金の8割以上は地域に戻ってきて、地域の諸活動の援助に使われているのです。**

西南部地区でも、赤い羽根共同募金の場合、地域にある11のシニアクラブを始め、校下婦人会、子ども会連合会、ボランティア西南部フレンズ、身体障害者福祉協会、母子寡婦福祉会の運営の補助などに当てたり、敬老会の補助にも使われています。

また、歳末募金については、75歳以上の一人暮らし世帯に「歳末見舞金」としてお贈りしています。

ただ、ここ数年、募金額の減少傾向が見られます。そのため各団体への補助も削減したり、「歳末見舞金」の額も以前より減らさざるを得なくなりました。

これからも、これらの活動が続けられますよう、皆様のご理解とご協力を、よろしく願いいたします。

### 編集後記

- ・「せいなんぶ福祉」は年2回発行ですが、今回は福祉活動計画を紹介する臨時号として追加発行しました。少しでも「社会福祉協議会」のことが、そして地域で取り組んでいる多くの皆さん方の活動に関心とご協力が得られればと思います。
- ・西南部地区の「歳末共同募金」の実績は、766,479円でした。ご協力ありがとうございました。今後も、ご協力よろしくお願いします。(赤い羽根共同募金の結果は、前回報告済みです。)